

社会福祉法人 藤島会 令和4年度 事業計画書

1 経営理念・ビジョン

・経営理念

地域社会に開かれた 地域社会の信頼を得る 福祉施設となることを目指します

・ビジョン（平成31年度より）職員の自主性を高めるため

やってみたい やってみよう まずやろう

2 法人の概要

- (1) 名称 社会福祉法人 藤島会
 (2) 事業所の所在地 福井市高木中央3丁目1701番地
 (3) 設立認可年月日 平成3年6月18日
 (4) 事業概要

(イ) 社会福祉事業

事業の種類	事業所の名称	定員
第1種社会福祉事業	特別養護老人ホーム藤島園	105
	ケアハウス藤島園	38
	第2藤島園そよかぜホーム	29
第2種社会福祉事業	藤島園デイサービス	35
	デイサービスふじしま	18
	藤島園ショートステイ	10
	リハサロンふじしま	10
	第2藤島園ショートステイ	10
	グループホームふじしま	9
	ふじしま認定こども園	120

(ロ) 公益事業

事業の種類	事業所の名称	定員
居宅介護支援事業	藤島園ケアマネジメントセンター	-
地域包括支援センター	福井九頭竜包括支援センター	-
特定施設入居者生活介護事業	ケアハウス藤島園	12
配食サービス事業	配食サービス	-

(ハ) 収益事業

- ・該当ございません

3 令和4年度の重点的な取組・目標

令和4年度はBSCシートを活用した経営管理が4年目となります。引続きBSCシート及び年間アクションプランを作成して毎月進捗状況を確認と同時に各管理者の育成を行います。

(1) 利用者・地域の視点

○園児・利用者・家族の満足度の向上

アンケートの作成と実施、包括支援センターからの広報(インスタグラムを活用)
HitomeQコネクト・コドモンの活用、苦情になる前に早期対応

○地域に開かれた藤島会

地域行事への参加、法人主催行事の開催、包括主催事業(出前講座・企業への
認知症研修)への介護事業所の参加、実習生の受入れ

(2) 財務の視点

○売上の確保

事業所ごとの稼働率向上、加算取得件数の増加
㈱日本経営のコンサルタントによりデイサービス事業の改善
在宅グループの連携強化(包括支援センター、ケアマネジメントセンター、
デイサービスの連携)

○経費の無駄をなくす

消耗品の使用量の削減・消耗品見直し、人員の適正配置により人件費の削減

(3) 業務プロセスの視点

○サービスの質の向上

1 サービスレベルの向上

- ・サービス情報公表制度の7項目の満点に向けた取組実施
- ・PT・OT・STの専門職配置によるリハビリの質の向上と専門職からの介護職員への技術指導による介護の質の向上
- ・接遇マナー教育、安全運転講習

2 サービスの標準化

- ・引続き介護ケアの基準書を各事業所で定着する取組実施

○業務の効率化

職員各自の業務を見直し。業務マニュアル作成。業務のムダを無くして効率化。
労働時間の削減 タイムカードを導入したので退勤時間のチェック継続
効率的かつ適正な人員配置を行う。

介護ロボット・ICTの活用 既設機器の活用、新規機器を検討

(4) 職員の視点

○一人ひとりが主人公になれる職場作り

職員がやってみたいことの企画・立案・実施

○リーダーのレベルアップ

毎月「進捗ミーティング」による振り返り実施により管理者のマネジメント能力のレベルアップを図る。

○職員のレベルアップ

研修プログラムを作成して、職種・等級・所属事業所に応じた適切な研修を受講。加算取得や職員配置上必要な研修受講や資格取得は計画的に行う。

○はたらきやすくやりがいのある職場

有給休暇の計画的取得。育児短時間制度実施継続、職員専用託児所。職員給食。人事考課制度により年2回の管理者との面談実施。

○ともに働く仲間づくり（採用）

インターンシップの充実。早い段階から学生と接点を持てるように、インターンシップの内容を充実させる。リクルート対策としてSNS（インスタグラム）への投稿。

○外国人職員の育成

在留資格「介護」の2名、特定技能外国人5名への日本語教育が終了し。介護現場で夜勤業務に入れている職員は在留資格「介護」の2名、特定技能外国人の5名を夜勤業務に入れるように早期に仕上げていく。

技能実習生の受入は初めてであるので、技能実習計画に基づいた業務指導を職員側も習得していく。

4 評議員会及び理事会

(1) 評議員会

定時評議員会として毎会計年度終了後3カ月以内に開催します。その他、必要に応じて開催します。状況によっては書面決議を行います。

(2) 理事会

毎会計年度に4カ月を超える間隔で2回以上開催します。その他必要に応じて開催します。状況によっては書面決議を行います。

5 各種委員会の運営体制

(1) 藤島園

褥瘡予防委員会、感染症予防委員会、事故対策委員会、身体拘束廃止委員会、入浴排泄委員会、口腔・食事委員会、思いやり委員会、環境整備委員会、防災委員会、レクレーション委員会、虐待防止委員会

(2) 第2藤島園そよかぜホーム

事故対策委員会、食事・口腔委員会、褥瘡予防委員会、防災委員会
身体拘束廃止委員会、安全対策委員会、感染症予防委員会

6 福利厚生

企業内託児所あり（職員専用 利用料金無料）、職員旅行（コロナ期間中は中止、旅費一部負担）、職員給食（昼食1食200円、夜勤者への朝夕食無料）、各種保険加入、制服貸与、職員親睦会費の助成（年2回）、慶弔・傷病見舞金、健康診断・予防接種実施、夜勤者検診（腰痛チェック年2回）、乳がん検診、永年勤続表彰、退職共済加入（福祉医療機構・県社協）、特別休暇、資格取得費用の支援（貸付金形式、取得後の勤続年数に応じて返済免除）

7 働き方改革

有給休暇の取得管理（有給休暇付与日数10日以上の方へ年間5日間以上）
同一労働同一賃金の対応 対象者：パート・嘱託 昇給実施、賞与支給

8 外国人技能実習生・特定技能外国人の活用

- ・技能実習生 新型コロナウイルスにより入国遅延
日本アジア医療福祉協同組合 ベトナム人 5名
令和4年は3名予定、2名時期未定
福井県社会福祉協議会 タイ人 2名 令和4年5月入社予定
- ・特定技能外国人 (株)アスリード ベトナム人 5名は就業中

9 新年度での取組

- ・社会福祉法人悠善会（グリーンライフ大和田）との合併手続、業務と仕組みの統一化。
- ・デイサービス事業（悠善会含め3事業所）の稼働率向上のための改善、(株)日本経営の専門家のコンサルタントも導入し営業手法や業務内容の見直しを行う。
- ・働き方の格差是正の取組み（全てのシフトに入れる職員と限定した働き方の職員との格差是正について、全体的に納得感のある処遇への転換への取組み）(株)日本経営のコンサルタントを導入して見直しを行う。

- ・包括支援センターにてクラウドストレージ採用により、ペーパーレス化及び在宅勤務の仕組みの構築。紙媒体が多い業界であるがペーパーレスの成功事例を作り、居宅や各相談員にも広げられるようにしていく。

10 設備計画（内容、金額）

(1)	技能実習生受入費用	5名	6,000,000円
(2)	車椅子購入（特養）	4台	480,000円
(3)	ベッド入替（特養・ケアハウス）	22台	3,900,000円
(4)	移乗ボード（特養）	6台	300,000円
(5)	介護ロボットSASUKE（特養）	1台	1,000,000円
(6)	モバイルPC（包括）	1台	300,000円
(7)	加湿器・扇風機（包括）	3台	20,000円
(8)	エアコン修理（そよかぜ）	2台	150,000円
(9)	照明入替（そよかぜ）	5台	350,000円
(10)	テレビ購入（そよかぜ）	2台	250,000円
(11)	自転車購入（そよかぜ）	2台	40,000円
(12)	パソコン購入（そよかぜ）	1台	250,000円
(13)	調理室排水工事（そよかぜ）		1,000,000円
(14)	アルコール検知器（デイ・本部）		200,000円
(15)	遊具購入（こども園）		4,000,000円

（検討中のもの）

- ・藤島園調理室 スチームコンベクション 修理又は購入
- ・藤島園調理室 メラミン食器への変更
- ・そよかぜホーム カメラ付きのセンサーの導入検討
- ・藤島園 電話通信機本体 老朽化により管理業者から更新検討依頼あり
- ・電気自動車 車両更新時期に合わせて災害対策も含めて検討